



元気いっぱい！コープレディご紹介♪ コロナウイルス対策はもちろん、予防も徹底しています！



私たちコープレディは、社員2名、パート5名で小山市内及び下野、野木地区を中心に配達しております。*社員2名（佐野・栃木・藤岡方面）

毎日、出勤前と配達の出発前の検温を徹底し
その際、いつもより高い場合は大事をとり
お休みにするなどの対応をしています。



密にならないよう、1人1人の間隔をあけて作業に
取り組み、現地では各自アルコール消毒液を常備し、こまめな
消毒を心がけています。帰社後は“手洗い・うがい運動、を
行い、仕切りのある机で事務作業を行うなど、予防対策を
徹底しています。コロナウイルス対策はもちろんのこと、首に冷却タオルを巻いたり
1人で作業する際はマスクを外すなど、自身の健康面にも気を配り、熱中症対策にも
必死で取り組んでいます。今は先の見えない状況ですが、組合員様と一緒に、1日も
早いコロナの終息を願いつつ頑張ります!!



またいつか皆様と楽しいお話の時間が
できればと思い、日々予防は徹底し
スタッフ一同これからも安心・安全、そして
まごころをもって配達してまいります。

コープレディ責任者 青木亮 (編集・作成)



これが私達、コープレディのスローガンです。マスクを装着して顔をお見せ出来なくとも、元気な挨拶と笑顔は絶やさずに商品をお届けします。

終戦の日に寄せて

戦争の悲惨さと平和の尊さ 語り継ぐ責任は私たちに
「安らかに眠ってください。過ちは繰り返しませぬから」

(広島・原爆死没者慰霊碑より)

7月12日の下野新聞一面に、80代、90代の3名の「宇都宮空襲」体験者のお話が掲載されました。

宇都宮大空襲…1945年7月12日の夜更け、宇都宮市中心部の現・中央小を目標に、焼夷弾が次々と落とされ、街は焼け野原となった。降りしきる雨の中、逃げ惑った620人以上の命が奪われた。(新聞記事より抜粋)

調べると、栃木・茨城・群馬の3県の各地に、空襲の傷跡があります。

2月10日太田や足利、7月10日日立や阿見、8月2日水戸、8月5日前橋や高崎、そして8月15日終戦のその日にまで、伊勢崎や高崎が空襲に見舞われています。

標的となった背景に、軍の駐屯や軍事工場、戦闘機の部品の生産地、飛行場などの存在があります。しかし農村の畑にも「あたり一帯に降り注ぐ」爆弾に、そこに生きる子どもたちもがさらされ犠牲になるのが戦争です。沖縄戦、広島・長崎の原爆、東京大空襲だけでなく、全国各地で母と子が戦火に逃げ惑う地獄絵が繰り返されたことを、改めて思い知らされました。

想像を絶する悲惨な経験に裏付けられた「平和の尊さと戦争が過ちであることへの確信」には力があります。しかし戦後75年目を迎え、語り部が次々と天寿を全うされるのを止めることはできません。3面の記事では、宇都宮空襲を語り継ぐ市民団体「ピース宇都宮」が活動の継承に苦悩していることが伝えられています。「今生きている人、記録の中に生きる人が何を訴えているのか。そこに共感することが記憶を継承する力。」「痛みを共有するっていうのかなぁ」団体の田中代表の言葉です。



「人が人でなくなる戦地」へ招聘された人々、飢えに耐え戦火に逃げ惑った人々、捨て石にされ今も不平等な状況に置かれる沖縄、人体実験でもあった原爆投下に世代を越えて苦しんできた広島・長崎。奪われた多くの命(日本の戦没者だけで310万人)と、家族を奪われた悲しみ、苦しみ。ありったけの想像力を駆使してその苦しみに共感し、広島原爆死没者慰霊碑に刻まれた「過ちは繰り返しませぬ」を自分自身の決意にしたいと思います。

「いのちと健康、暮らしを守る」よつ葉生協の理念は、平和な世の中であってこそ成り立ちます。よつ葉生協がモットーとする「地産地消」は、国の食料自給率アップにつながり、食の自給自足は、武力に頼らない重大な防衛策の一つです。日々の暮らしの中で、平和を守る思考を続けたいものです。
〈組合員活動常任理事 堀〉



「宇都宮空襲」
江野町・焼け跡に立つ少女

沖縄戦75年「慰霊の日」

沖縄「慰霊の日」追悼式では、県立首里高校三年の高良朱香音さん(17)の写真が、平和の詩「あなたがあの時を朗読した。沖縄戦を体験した世代が戦争を語ってきた勇氣や、記憶を伝えていく使命感を詩に込めた。体験者の心に届き、若い人が発信する機会になればと願う。①面参照

当時戦争をよく理解していなかった体験者の視点を「あ



高3 高良さんが朗読

き換え、教室にいる友達や自分が死ぬことも想像した。戦争を経験した世代が減っていく中、語ってきたことへの感謝も込めた。「あなたがあの時、勇氣を振り絞って語ってくれたおかげで、私たちが知った」「ありがとう」

同時に、若い人がいかに記憶を継承していけるのかを考えた。友達同士でも戦争や平和について話し合うこと

はなく、高良さんもこれまで「受信」する立場だったが、自分から発信し、身近な人や若い人とも話しやすくなればと考えた。「戦争の悲惨な世の中を生き抜いた思いはとて、も大きなものだと思う」と、七十五年の節目に平和を伝える使命感を感じている。詩にも決意を盛り込んだ。「あなたが見つめた希望の光、私は消さない、消さない」

あなたがみつめた希望の光消さない

平和の詩全文

二十三日の沖縄全戦没者追悼式で高良朱香音さんが朗読した「平和の詩」全文は次の通り。(原文のまま、沖縄県平和祈念資料館提供)

あなたがあの時

「懐中電灯を消してください」
一つ、また一つ光が消えていく
真っ暗になったその場所は
まだ昼間だというのに
あまりにも暗い
少し湿った空気を感しながら
私はあの時を想像する

あなたがまた一人で歩けなかったあの時
あなたの兄は人を殺すことを習った
あなたの姉は学校へ行けなくなった
あなたが走れるようになったあの時
あなたが駆け回るはずだった野原は
真っ赤っか 友だちなんて誰もいない

あなたが青春を奪われたあの時
あなたはもうボロボロ
家族もいない 食べ物もない
ただ真っ暗なこの壕の中で
あなたの見た光は、幻となって消えた。

「はい、ではつけていいですよ」
一つ、また一つ光が増えていく
照らされたその場所は
もう真っ暗ではないというのに
あまりにも暗い
体中にじんわりとかく汗を感じながら
私はあの時を想像する

あなたが声を上げて泣かなかつたあの時
あなたの母はあなたを殺さずに済んだ
あなたは生き延びた

あなたが少女に白旗を持たせたあの時
彼女は真っ直ぐに旗を掲げた
少女は助かった

ありがとう
あなたがあの時
あの人を助けてくれたおかげで

私は今、ここにいます
あなたがあの時
前を見続けてくれたおかげで
この島は今、ここにある

あなたがあの時
勇氣を振り絞って語ってくれたおかげで
私たちは、知った
永遠に解かれることのない戦争の呪いを
決して失われてはいけない平和の尊さを
ありがとう

「頭、気をつけてね」
外の光が私を包む
真っ暗闇のあの中で
あなたがみつめた希望の光
私は消さない、消さない
梅雨晴れの午後の光を感じながら
私は平和な世界を創造する

あなたがあの時
私を見つめたまっすぐな視線
未来に向けた穏やかな横顔を
私は忘れない
平和を求める仲間として



「伊勢崎空襲」



「水戸空襲」

よつ葉文庫のご案内

「よつ葉文庫」は組合員のための図書室です。文庫のリストはよつ葉生協HPでもご覧いただけます（トップページ→組合員の方へ→「よつ葉文庫」のアイコンをクリック）。
借りたい場合は、注文書のご意見ご要望欄に本のナンバー・題名・貸し出し希望と記入して、配達員にお渡しください。原則として翌週、配達と一緒に本をお届けします。貸し出し希望が多い本の場合はお待ちいただくこともありますので、ご了解ください。「よつ葉文庫」の本を読んだ感想もお待ちしております。スペースの許す限り、「利用者の声」として紙面でご紹介します。

組合員さんがおすすめする本



No.1253 『自然な体をとりにどす 女性のためのじぶんで治る整体法』 野村奈央著 ソニー・マガジズ発行

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、各地で災害が起こるなど多くのストレスと不安・恐怖を感じて、心身のバランスを崩している方が多いと思います。このような大変な時期におすすめの本をご紹介します。

～本文より～

「私たちには、体を元気にする力が備わっています。「生来の治る力」です。今の私たちは自分でその力に気づき、その力を引き出すことを体で知ることが大切です。」

外出を自粛し、家で過ごす時間が増えています。自分の心と体をみつめ直し、向き合う良い機会ではないでしょうか？本書には、胸を開き、免疫力を高める実習など、日々の緊張をゆるめ、心も体もホッと出来る実習がイラスト入りで紹介されています。自宅で空いた時間に気軽に行うことができます。ぜひ試してみてください。（長谷見 さおり）

No.1268 『新型コロナ 19 氏の意見 われわれはどこにいて、どこへ向かうのか』 新刊登録 内山節（哲学者）、山田真（小児科医）ほか著 農山漁村文化協会編 2020年5月 124 ページ

第一波が急速に拡大した4月上旬に編集された、19人の識者による論考集です。

それから4か月が過ぎ、第二波の到来を思わせる感染増加のまっただなかです。収束はまだ先のことのようです。世界での対応とそれらをめぐる検証、社会システムや政治があぶりだした脆弱さ、さらにあらわになった多くの格差など、連日メディアで目にする情報はあまりに多く、受け止めるには重く、自分なりに消化できずこぼれ落ちていく感覚です。思考をやめて「新しい生活様式」に慣れていきがちで今、このウイルスとの共存のために、これから生きるための知恵を見出したいものです。

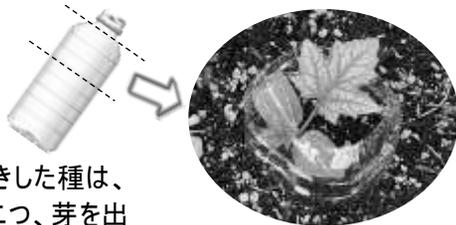
～目次～

- ① ウイルスと人間の関係からみる
- ② 日本の対応について考えてみる
- ③ 日本の食生活と教育からみる
- ④ 歴史と世界に視点を広げてみる
- ⑤ パンデミック後の社会に希望をみる

（理事 三輪）

ヘチマ通信② ～経過報告～

5月下旬、本部花壇に直播きした種は、10日ほど経ってやっと一つ、二つ、芽を出し…でも数日で消え、また消えて…。犯人はダンゴムシ。花壇に入れた腐葉土はダンゴムシの住処&エサ。よく見たらウジャウジャいました。
環境委員の自宅でポットに植えた種は順調に育ち、6月下旬に本部花壇に移植しました。脱ブラには反しますが、ダンゴムシが乗り越えられないペットボトルを切った柵で囲いました。蒔いて数日で芽を出す種、1ヶ月遅れて芽を出す種。植物の成長も、子どもの成長も、個体差大!!と感じています。
※種蒔きはダンゴムシが登れないポットに蒔き、本葉が出たら地植えがおすすめです。
（環境委員会）



＜よつ葉だより休刊のお知らせ＞

お盆の間、印刷屋さんがお休みのため、8月17日のよつ葉だよりは、お休みさせていただきます。よろしくお願い致します。



東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (7月5週分)

ご協力ありがとうございます。
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	6,900
震災孤児を支援する募金 (910番)	17,300
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	9,600
合計	33,800

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側「企画商品」内の「復興支援募金」をクリック。一口100円の募金になります。



よつ葉生協
ホームページ



よつ葉生協
Facebook

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <http://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yahoo.co.jp

